

町民の力を結集して、被災地 支援と災害に強い町づくりを

日本共産党は、大震災の発生した3月11日、志位委員長を本部長に「大震災対策本部」を設置し、可能なあらゆる活動をしようとして取り組んできました。

党池田支部もファンクラブとともに、町に対し救援・救済の緊急要請をおこない、自らもメガマート、アップルランド前で募金活動をし、更に皆さんに物資や義援金などの協力をいただき、今日までに寄せられたものについては中信地区委員会に届けました。これらは逐次被災地におくられています。

被災地支援のとりくみを継続的に

今回の統一地方選はこのような事態のなか実施される選挙となりました。

従って、いま第二に取り組まなければならないことは、日本国民が立場の違いをこえ「国民的エネルギー」を発揮して、被災地への支援、復興をやり抜き「戦後最大の困難」を打開することです。そしてこのことを「新しい社会」、「新しい町」をつくる契機とすることを提案します。

まず町として取り組む震災対策の緊急課題として、避難所への支援があります。そのために次のことが必要です。

- ① 救援物資（燃料、水、食料、医薬品など）、義援金を被災地に届ける。
- ② 避難者の受け入れ場所の確保。
- ③ 支援ボランティアを登録し要請に応じられる体制を作る。

また、原発事故の影響は長野県にも及ぶと考えられます。正確な情報を政府が責任をもつて国民に伝えるように、国に要求することも必要です。

大震災から何を学ぶのか

この大震災であらためて明確になったことは、災害から住民の命をまもるためには、学校、公共施設、住宅などハード面の対策と、医療、介護、子育て支援などの強い基盤とネットワークの必要性などです。

多くの自治体では、市町村合併により役場が住民から遠くなる、公務員が少なく対応が追いつかない、消火力も削減されるなどで、いざという時に役場が役に立たない、生活再建や仕事に困難をきたすという状況になっています。

福祉と防災の町づくりは一体の課題

私たちは、「住民の福祉を守る」という地方自治の原点と「災害から命を守る」という責務は一体のものであるとして、これを町政政策の基本としました。

その全文はすでに先日来全戸配布している「池田民報」紙上でお知らせしている通りですが、その骨子は次のようになっています。

- ・国の福祉切り捨てから町民を守る「防波堤」となる町政
- ・防災対策を充実させ安心、安全の町づくり
- ・T P P参加反対・自然エネルギーの有効活用
- ・町民と行政が力を合わせ町づくりを推進する組織づくり
- ・町民要求や町の課題を条例提案できる「議会基本条例」の制定

これらでもおわかりの通り、私たちの町議選にむけた政策にはすべて「住民の福祉を守る」「災害から命を守る」という観点が貫かれています。

詳細については池田民報172号をごらんください。
ファンクラブの会員・読者の皆さんには、これらの政策に深いご理解をいただき、是非ともまわりの有権者のみなさんに日本共産党への支持を訴えていただくことを心からお願いたします。



実直さと正義感

渋谷 見 太田 幸代

彼女が町議会議員になつてから8年間の活動を見てきました。

織物職人の服部さん。手先は器用なものでしょうが、人生の歩き方はどちらかといえば不器用だと思っています。不器用だからこそ、その実直さと持ち前の正義感で粘り強く頑張る、そんな彼女を信頼して応援しています。

住民が安心して生活できる町政実現めざし、頑張つて下さい。

暮らしを守る 先頭に立てる人

酒井 洋子

この町で安心して年を重ねていくことが私の願いです。

福祉や教育を充実させるために、いざ！というときに支えになる町の職員

や議員をへらし過ぎるのは困ります。
私たちの暮らしを守るために頑張っている服部さんを応援します。

教育要求実現への 奮闘を期待

滝の台 米沢 敏夫

日本国憲法は26条で、「すべての国民は教育を受ける権利を有し、普通教育を受けさせる義務を負う。義務教育はこれを無償」と定める。しかし現実には「有償」が多く親の負担は大きい。

「有償は憲法違反」との認識を堅持して、服部さんの教育への要求で、もつと

もつと町政を追求し、さらに国を動かすまでたかめて欲しい。必ずできる。

私たちの願いを 実現してほしい

花見 山本 まき子

私たちひとりの暮らしやいのちを守るため、また私たちが住むこの町の発展のために、ひきつづき頑張ってください。

滝沢 飯田 宏子

国政や町政に言いたいことは山ほどあります。とりわけ、町民の立場に立つて、私たちの願いを一つひとつ実現して下さい。



イラスト 中野さなえさん

うあい考彦 候補 に期待します

議員の任務を 果たせる人

豊町 丸山 浩平

町の理事者の施策を審議・批判することだけが町議会議員の任務ではない。南へ、北へ、町内を駆け回り、町民の声をよく聴き、多岐の情報咀嚼し、より良い方策を提案するのが、議員の重要な任務である。薄井君には、それができる。

町民の立場に 立てる人

中島 矢口 一成

管内閣が突然出してきたT P P（環太平洋連携協定）が実施されると、農産物の関税が撤廃になり、池田町の農業生産の柱である米農家は壊滅状態になります。

安全で安心な食料を求めている消費者と生産者である農家の気持ちを聞いてくれる薄井さん。

町民の立場に立てる薄井

さんの活躍を期待します。

行動力・実行力の人

三丁目 松島 輝行

薄井さんは、佐久に勤務している時に、毎週金曜日に戻り自治会長を務めあげました。また八幡神社建設の役員をしてもらつて、本当に助かりました。難しい問題を解決していく行動力と実行力はすごいものを持っています。長期的な町の活性化に対する考えもあり、実行できる人です。是非、町議会へ送ってもらいたいと思います。

議会に新風を 吹き込む人

二丁目 寺島 徳治

町議会は行政のチェックも大事なことです。地域住民の声が行政に届く議会への転換がより必要だと言えます。

私の住んでいる町内で今年小学校入学児童が

たった一人だそうです。かつてない少子高齢化のなか、「福祉と暮らしを最優先で守り、町民が生き生きと活躍する池田町」にすべく、実現可能な政策提案をしてもらいたいと思います。薄井さんは議会に新風を吹き込める人間性もフランスのとれた力のある方だと思えます。特に、「議会基本条例」の制定めざして頑張ってください。

庶民のための町政を

T & Y

国保料の大幅引き上げ、高齢者医療費の値上げ、農・工・商業の悪化により庶民の生活は苦しく、町政の課題は山積みである。庶民のための政治を優先して実行に移してくれるのが、共産党の「服部久子」「薄井孝彦」である。この二人をぜひ議会に送り、服部候補には8年の実績を継承し、薄井候補には町政に新風を吹き込んで欲しいものである。